

2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月9日
上場取引所 東

上場会社名 双葉電子工業株式会社
 コード番号 6986 URL <https://www.futaba.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有馬 資明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務管理本部長 (氏名) 中村 正行 TEL 0475-24-1111
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	39,299	10.8	△1,335	—	△727	—	△1,839	—
2021年3月期第3四半期	35,478	△19.8	△2,666	—	△2,314	—	△3,929	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 △1,232百万円 (—%) 2021年3月期第3四半期 △1,650百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	△43.37	—
2021年3月期第3四半期	△92.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	98,307	84,893	75.5
2021年3月期	100,206	87,500	76.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 74,198百万円 2021年3月期 76,882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2022年3月期	—	14.00	—		
2022年3月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	8.5	△1,800	—	△1,400	—	△3,300	—	△77.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期3Q	42,426,739株	2021年3月期	42,426,739株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	9,360株	2021年3月期	8,981株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期3Q	42,417,582株	2021年3月期3Q	42,418,296株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については[添付資料] 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、ワクチン接種率の増加、緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置の解除により人流が増加し、また各種政策の効果や海外経済の改善もあり、社会・経済活動の正常化が期待されるものの、供給面での制約や原材料価格の動向による下振れリスクや新型コロナウイルス感染症の変異株による感染再拡大の懸念により、依然として注意が必要な状況が続いております。

また、世界経済においても、中国や欧米では緩やかな回復基調にある一方、足元では資源価格の上昇などによるインフレ懸念やスタグフレーションの兆しが見られ、加えて、米中・米露問題といった地政学的リスクが深刻化するなど、極めて不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当第3四半期において当社グループは、中期経営計画（Futaba Innovation Plan 2023）に掲げた方針に基づき、諸施策の取り組みを更に深化させ、コスト構造改革による収益の改善と事業成長の促進に取り組んでおります。具体的には、高輝度・高精細な小型カラー有機ELディスプレイの市場展開、グループ会社である株式会社カブクの「Plate Builder」と当社「フタバオーダーサイト」を連携させたサービスの提供を開始するなど新製品・新サービスの積極的な投入に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、次のとおりになりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率 (%)
売上高	35,478	39,299	10.8
営業損失(△)	△2,666	△1,335	—
経常損失(△)	△2,314	△727	—
親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△3,929	△1,839	—
米ドル平均レート	106円/\$	111円/\$	5円

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

① 電子デバイス関連

(主な製品：タッチセンサー、有機ELディスプレイ、蛍光表示管、複合モジュール、産業用ラジコン機器、ホビー用ラジコン機器等)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減率 (%)
売上高	14,752	16,401	11.2
営業損失(△)	△2,715	△2,073	—

タッチセンサーでは、車載用途での新モデル量産開始などがあったものの、顧客の半導体調達難による生産調整の影響も受けたことから、売上げは前年同期並となりました。

有機ELディスプレイでは、海外での事務機用途および映像用途は堅調に推移しましたが、車載用途やWi-Fiルーター向けでは顧客の半導体調達難による生産調整の影響等を受けたことから、売上げは前年同期を下回りました。

複合モジュールでは、国内での事務機用途および計測器用途が好調であったことから、売上げは前年同期を上回りました。

産業用ラジコン機器では、トラッククレーン向けやF A向け、医療関連向けが好調に推移したことから、売上げは前年同期を上回りました。

ホビー用ラジコン機器では、空用およびカー用プロポの新製品販売が順調であったことから、売上げは前年同期を上回りました。

② 生産器材

(主な製品：プレート製品、金型用器材、成形・生産合理化機器)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減率(%)
売上高	20,742	22,928	10.5
営業利益	49	739	—

国内では、設備投資関連の市場が回復してきたため、モールドおよびプレス金型用器材やプレート製品が好調に推移し、成形・生産合理化機器も堅調であったことから、売上げは前年同期を上回りました。

海外では、主力の韓国において、景気の持ち直しによる需要の増加に加え、為替が円安で推移したことから、売上げは前年同期を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度末に比べ18億9千8百万円減少し、983億7百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金や電子記録債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べ7億8百万円増加し、134億1千4百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ26億7百万円減少し、848億9千3百万円となりました。この結果、自己資本比率は75.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2021年11月10日に公表しました連結業績予想を修正しています。

詳細につきましては、本日(2022年2月9日)公表の「通期連結業績予想の修正、営業外収益および特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,829	35,787
受取手形及び売掛金	14,076	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	13,889
電子記録債権	825	1,016
有価証券	612	600
商品及び製品	2,905	3,952
仕掛品	2,612	3,038
原材料及び貯蔵品	6,269	9,250
その他	1,110	1,609
貸倒引当金	△709	△717
流動資産合計	68,532	68,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,310	5,022
機械装置及び運搬具(純額)	2,136	1,963
工具、器具及び備品(純額)	277	333
土地	8,429	8,360
リース資産(純額)	1	1
建設仮勘定	69	278
その他	394	333
有形固定資産合計	16,619	16,293
無形固定資産		
のれん	82	54
その他	684	670
無形固定資産合計	766	725
投資その他の資産		
投資有価証券	9,348	7,830
その他	5,536	5,627
貸倒引当金	△597	△597
投資その他の資産合計	14,287	12,860
固定資産合計	31,673	29,879
資産合計	100,206	98,307

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,079	3,956
電子記録債務	659	920
短期借入金	456	423
未払費用	2,333	2,220
未払法人税等	432	165
賞与引当金	776	589
その他	1,410	1,589
流動負債合計	9,150	9,865
固定負債		
繰延税金負債	2,111	2,095
役員退職慰労引当金	59	63
退職給付に係る負債	747	790
その他	637	599
固定負債合計	3,555	3,548
負債合計	12,705	13,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,558	22,558
資本剰余金	21,558	21,555
利益剰余金	32,413	29,385
自己株式	△15	△16
株主資本合計	76,514	73,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,479	1,150
為替換算調整勘定	△2,742	△1,698
退職給付に係る調整累計額	1,631	1,263
その他の包括利益累計額合計	367	715
非支配株主持分	10,618	10,694
純資産合計	87,500	84,893
負債純資産合計	100,206	98,307

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	35,478	39,299
売上原価	29,821	32,560
売上総利益	5,657	6,738
販売費及び一般管理費	8,323	8,073
営業損失(△)	△2,666	△1,335
営業外収益		
受取利息	160	122
受取配当金	192	195
為替差益	—	116
補助金収入	415	96
その他	163	171
営業外収益合計	932	703
営業外費用		
支払利息	16	46
為替差損	509	—
その他	54	48
営業外費用合計	579	95
経常損失(△)	△2,314	△727
特別利益		
固定資産売却益	121	546
投資有価証券売却益	28	127
ゴルフ会員権売却益	103	—
特別利益合計	253	674
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産廃棄損	7	2
減損損失	799	771
事業再編損	173	—
特別損失合計	980	775
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,041	△828
法人税、住民税及び事業税	455	424
法人税等調整額	173	301
法人税等合計	629	725
四半期純損失(△)	△3,671	△1,553
非支配株主に帰属する四半期純利益	258	285
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,929	△1,839

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△3,671	△1,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,194	△318
為替換算調整勘定	1,016	1,004
退職給付に係る調整額	△190	△364
その他の包括利益合計	2,020	321
四半期包括利益	△1,650	△1,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,517	△1,492
非支配株主に係る四半期包括利益	867	260

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、収益認識適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子デバイス 関連	生産器材	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,746	20,731	35,478	—	35,478
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	11	17	△17	—
計	14,752	20,742	35,495	△17	35,478
セグメント利益又は損 失(△)	△2,715	49	△2,665	△0	△2,666

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

電子デバイス関連セグメントにおいて、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった当社および一部の連結子会社における事業用資産の帳簿価額を、回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては628百万円です。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子デバイス 関連	生産器材	合計		
売上高					
日本	6,886	10,604	17,491	—	17,491
米州	3,647	79	3,727	—	3,727
欧州	1,031	0	1,031	—	1,031
アジア他	4,813	12,223	17,037	—	17,037
顧客との契約から生 じる収益	16,378	22,908	39,287	—	39,287
その他の収益	12	—	12	—	12
外部顧客への売上高	16,391	22,908	39,299	—	39,299
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	19	29	△29	—
計	16,401	22,928	39,329	△29	39,299
セグメント利益又は損 失(△)	△2,073	739	△1,334	△0	△1,335

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

電子デバイス関連セグメントにおいて、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった当社および一部の連結子会社における事業用資産の帳簿価額を、回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては404百万円です。